



「手ぬぐい」を上手に使おう

最近、「手ぬぐい」が見直されているとのことです。用途としては、

- ①「ぬぐう」・・・手や食器を拭く
- ②「包む」・・・お弁当やワインを包む、ブックカバーにする
- ③「巻く」・・・首に巻く、バンドナにする
- ④「飾る」・・・タペストリーとして部屋に飾る

その他にも、テーブルクロスにしたり、といろいろな使い方がありますね。


登山でも「手ぬぐい」は重宝されています。帽子代わりになったり、首に巻いたり、マスク代りにしたり、ケガの際に包帯代わりにしたり、靴が壊れた時に補修したり・・・。

最近はおしゃれな柄もたくさんあります。

「手ぬぐい」を見直してみませんか？



「Eco列車でいこう！」～第147回～ 弥彦を楽しむ、秋の休日。

(CO2排出量の少ない交通機関での旅行や、心が豊かになるような旅行を紹介するコーナーです！) 

11月14日(日)。新潟市中央区を6:30に出発。西区赤塚にある、アフリカパンのお店で「おやつ」を購入し、弥彦神社脇駐車場には7:40着。早朝にもかかわらず、すでにほぼ満車だ。

天気は快晴。少し肌寒いが、運動するにはちょうどいい。表参道から弥彦山登山開始。

序盤は杉並木の階段。さすがは新潟県民のソウルマウンテン。登山者が多い。

4合目までは、「合目」の間隔が長く感じるが、それを過ぎれば、色とりどりの紅葉。

5合目を通過すれば、新潟平野を見渡しながらか気持ちいい登山道になる。

ロープウェイの山頂駅や、展望食堂が徐々に近くなってきて、9合目に到達。最後は、スカイラインやロープウェイ経由のみなさんとともに10分少々の階段を登り、山頂に到着。

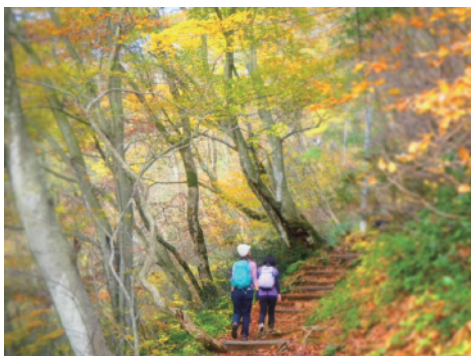
澄み切った空気で遠くまで見渡せた。飯豊連峰や妙高方面、日本海、佐渡の大パノラマが素晴らしい。食堂脇のベンチで「午前のおやつタイム」を楽しんだあと、来た道をトコトコ下って、駐車場着。

パパッと着替えて、もみじ谷へ向かう。最近は閑散としていた温泉街に人が溢れている。コロナ禍以前に戻ったかのように、晩秋の休日は大賑わいだ。もみじも見ごろ。青空と紅葉のコントラストも佳。

キッチンカーが並ぶ「ヤホール」前でお弁当を食べたあと、テクテク歩いて、弥彦神社へ。

「菊まつり」開催中につき、こちら也大賑わい。それにしても、子どもどころ、まったくつまらなかった「菊まつり」が、なんか楽しい。「オトナ」になったと感じる。

帰途は洋食器・金物のアウトレットショップ「ストックバスターズ」をのぞいた後、燕三条駅前のケーキショップで「午後のおやつタイム」。目も舌も大満足の日となった。



紅葉の弥彦山に行く



山の上で「午前のおやつタイム」



もみじ谷も見ごろだった